



# グローバル・フォーラム会報

THE GLOBAL FORUM OF JAPAN BULLETIN, Fall 2006 Vol.7, No.4

## 「日・ASEAN対話」開催さる 「日・ASEAN戦略的パートナーシップの展望」

グローバル・フォーラムは、日本国際フォーラム、ASEAN戦略国際問題研究所連合との共催、読売新聞社、日本アセアンセンター、東アジア共同体評議会との協力により、9月7-8日に東京において、第5回「日・ASEAN対話：東アジア・サミット後の日・ASEAN戦略的パートナーシップの展望」を実施した。

過去4回の「対話」の実績を背景に、当日の参加者は138名にのぼり、活発な議論が交わされた。以下に、その概略を紹介する。



開幕夕食会で挨拶する赤尾信敏事務総長

### 東アジア共同体構想の現状とASEAN統合

「セッション1：東アジア共同体構想の現状とASEAN統合」では、まずジャワール・ハッサン・マレーシア戦略国際問題研究所会長から「東アジア共同体の概念は、①コンセプト、②制度化、③参加資格の3点でメンバー間、特に日中間の意見対立が深刻だ。良好な日・ASEAN関係を今後も維持したい」、伊藤憲一日本国際フォーラム理事長兼グローバル・フォーラム執行世話人から「東アジアの地域統合は欧州の真似ではなく、独自の創造的行為でなければならず、その場合にモデルとなるのは、EUではなくASEANだ。ASEANは東アジア地域統合の

Driving Forceであると同時に、モデルでもある」との報告がなされた。

これに対しホアン・ベトナム国際関係研究所長、小笠原高雪山梨学院大教授、タムサックASEAN事務総長特別補佐官などよりコメントがあった。

### ASEAN統合に向けた経済連携の強化

「セッション2：ASEAN統合に向けた経済連携の強化」では、赤尾信敏日本アセアンセンター事務総長から「東アジア統合のプロセスは、いまだ初期段階である。協定においては『ASEANマイナスX』の枠組みが確立されてきている。ASEAN諸国は構造改革により競争力強化を進めるべきだし、日本は対ASEAN協力を強化すべきだ」、ジスマン・シマンジャンタック・インドネシア戦略国際問題研究所会長から「経済を発展させるためにはWTOを重視すべきだが、所得格差、電力消費量、インターネット・ユーザー数、投資人口などの平均化といったポジティブな統合を推進することも必要だ」との基調報告がなされた。

これに対し木下俊彦早稲田大教授、コン・シフォン・ブルネイ政策戦略研究所代表、濱本良一読売新聞調研本部主任研究員等よりコメントがなされた。

### 非伝統的安全保障協力の促進

「セッション3：非伝統的安全保障(NTS)協力の促進」では、カロリーナ・ヘルナンデス・フィリピン戦略開発問題研究所所長から「日本とASEANの間にはNTSや人間の安全保障での協力の事例が多くあるが、ASEANは国家主権の問題に非常に慎重だし、日本は平和憲法の制約がある」、白石隆政策



基調報告する伊藤執行世話人(左から三人目)

研究大学院大学副学長から「NTSには、資金洗浄、海賊、サイバーテロなどの8つの種類が含まれている。これらについては、協力体制構築につき国家間で広いコンセンサスが形成されているが、同時に『プライオリティー・ギャップ』『国家能力ギャップ』の2つの問題も存在する」との基調報告があった。

これに対しティン・ミャンマー戦略国際問題研究所長、高原明生東京大教授、ブンボンカーン・タイ安全保障問題研究所元所長等からコメントがなされた。

「総括セッション」では、ハンク・リム・シンガポール国際問題研究所研究部長から「日本とASEANの考え方の違いに橋を架ける必要がある」、柿沢弘治元外務大臣から「遅くとも、着実に東アジア共同体を追求してゆきたい」などのコメントがなされた。

この「対話」の内容は9月18日付け読売新聞により1面全面を割いて特報されたほか、速記録の報告書が作成され、ウェブ(<http://www.gfj.jp>)上でも公開されている。



活発に討議する参加者たち

## 韓国大統領諮問委 李委員長来訪

グローバル・フォーラムが昨年4月に開催した「日韓対話」の韓国側共催者である韓国大統領諮問東北アジア時代委員会の李洙勳委員長が、さる6月1日に当フォーラムを来訪し、伊藤憲一執行世話人のほか、田島高志、橋本宏、折田正樹などのメンバーと意見を交換した。

伊藤が「東南アジア10カ国と比べ、北東アジア3カ国の結束が弱い。日韓両国が協力して突破口を見出すべきでは」と述べたのに対し、李委員長は「共同体にどの国を入れるかには関心がない。韓日中3国の未来秩序を創ることが、共同体の目的でなければならぬ。韓日間の意見の差異を縮めるため、貴フォーラムと引き続き対話を深めたい」と語った。

## インドのシンクタンク RIS 所長来訪

インドのシンクタンク「研究情報システム (RIS)」のナゲシュ・クマル所長が、さる6月5日に当フォーラムを来訪し、「アジアの地域協力はJACIK (日本、ASEAN、中国、インド、韓国) の枠組みが重要だ。インドが日本とともに民主主義や市場経済を共有することが、大きな意味をもつ」と語り、当方スタッフと懇談した。

### ■新規入会メンバーの紹介

(6-8月分、入会順)

【有識者メンバー】

- 池尾 愛子 早稲田大学教授
- 今川 幸雄 元駐カンボジア大使
- 小笠原高雪 山梨学院大学教授
- 木村 崇之 国際基督教大学客員教授
- 佐島 直子 専修大学教授
- 村上 正泰 日本国際フォーラム主任研究員
- 湯下 博之 杏林大学客員教授

## 4-8月の「議論百出」

4月3日に当フォーラムのホームページ上でスタートした政策掲示板「議論百出」は、8月末日までに104通の投稿を集め、世界と日本の交流を論ずる公開討論の場として、当初の予想を上回る活況を呈している。基本的に本名による投稿であり、当フォーラム・メンバーを中心に著名人の投稿も多く、その冷静かつ紳士的な雰囲気は、討論の内容の質的なレベルの高さとともに、各方面から高い評価を受けている。4-8月の投稿の中から、いくつかを紹介する。URLは<http://www.gfj.jp/>。

- 8/17 「『ASEAN 諸国の米国離れ』と東アジア共同体」(小笠原高雪)
- 8/11 「小泉首相の靖国参拝」(村田晃嗣)
- 8/9 「『井の中の鯨』のままでよいのだろうか」(湯下博之)
- 6/3 「韓国を中国側に追いやってはいけない」(小此木政夫)
- 5/7 「中日関係をよりよく発展させるために」(高海寛)
- 4/10 「民間レベルの関係改善を」(劉傑)
- 4/3 「台湾関係法の問題の微妙さ」(袴田茂樹)
- 4/3 「国民的理解の不足は残念」(吹浦忠正)

### 謝 辞

当フォーラムの諸活動の主要な財政的基盤は、その経済人世話人および経済人メンバーの所属する企業の納入する賛助会費にあります。

現時点における賛助会費納入企業は、下記の13社21口です。ここに特記して謝意を表します。

【経済人世話人所属企業】 [5口]

トヨタ自動車 キッコーマン

【経済人メンバー所属企業】 [1口]

住友電気工業 鹿島建設

新日本製鐵 東京電力 旭硝子

三菱東京UFJ銀行 日本電信電話

富士ゼロックス ビル代行

エイチ・アイ・エス 日本郵船

(入会日付順)

## 「GFJコラム」開設



当フォーラム (GFJ) のホームページ (<http://www.gfj.jp>) 上に8月1日から「GFJコラム」欄が開設され、世界各国・各地域と日本の関係や交流を論ずるエッセーや論文を紹介している。8月中に掲載された主な論文は、下記のとおり。アクセスしてほしい。

- 8/31 「世界の『村上春樹現象』」(青木保)
- 8/22 「市民社会を基盤とするソフトパワー外交を」(山内昌之)
- 8/20 「日本版の台湾関係法制定を検討せよ」(浅野和生)
- 8/9 「日韓関係：『体制摩擦』から『意識共有』へ」(小此木政夫)
- 8/1 「黒海地域と日本外交」(六鹿茂夫)

## フォーラム活動日誌 (6-8月)

- 6月1日 来日した李殊勳韓国大統領諮問東北アジア時代委員会委員長が来訪、懇談 (伊藤憲一執行世話人、甲斐紀武世話人他9名)
- 6月5日 Joseph Caron 駐日カナダ大使来訪、懇談 (伊藤執行世話人他14名)
- 6月14日 第184回国際政経懇話会 (鈴木敏郎前イラク大使他23名)
- 6月19日 来日した Peter Cozens ウェリントン・ヴィクトリア大学戦略研究所所長他7名が来訪、懇談 (伊藤執行世話人他6名)
- 6月22日 日米アジア対話「東アジア協同体と米国」本会議 I・II (Ralph Cossa パシフィック・フォーラム CSIS 理事長、Simon Tay シンガポール国際問題研究所長、他76名)
- 7月11日 第185回国際政経懇話会 (内藤正久日本エネルギー経済研究所理事長、廣野良吉成蹊大学名誉教授他23名)
- 8月1日 「GFJコラム」開設



グローバル・フォーラム会報  
2006年秋季号  
(第7巻 第4号 通巻第28号)

発行日 2006年10月1日  
発行人 伊藤 憲 一  
編集人 渡 辺 蘭

発行所 グローバル・フォーラム  
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-12-1301  
[Tel] 03-3584-2193 [E-mail] info@gfj.jp  
[Fax] 03-3505-4406 [URL] <http://www.gfj.jp/>